

尼崎の森中央緑地 管理水準書
（スポーツ健康増進施設除く）
（資料編）

令和2年8月

兵庫県阪神南県民センター尼崎港管理事務所

兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課

目 次

1	主要施設.....	1
2	航空写真.....	2
3	主要施設平面図.....	3
4	芝生管理図.....	4
5	草地管理図.....	5
6	樹木管理図.....	6
7	樹木総括表.....	6
8	苗木育成管理図.....	11
9	舗装管理図.....	12
10	尼崎21世紀の森構想.....	13
11	尼崎スポーツの森.....	16
12	参画と協働による森づくり活動.....	17

1 主要施設

施設名	施設の概要
パークセンター	木造平屋建 499 m ²
茅葺き民家	木造平屋建 159 m ² 、畑 約 240 m ² 、混ぜ生垣 約 70m
駐車場	芝入インターロッキング舗装 約 2,980 m ² 、A S舗装 約 5,360 m ² 、芝生駐車場(耐圧路盤タイプ) 約 2,850 m ² (普通乗用車 184 台、バス 10 台)
多目的広場 (臨時駐車場)	約 13,600 m ² (芝生) (臨時駐車場 普通乗用車 637 台)
広場	はじまりの森広場 (芝草混合 約 4,100 m ²)、大芝生広場 (芝生 約 29,000 m ²) その他広場 (芝生 約 8,140 m ²)
園路	黒 As 舗装約 1,380 m ² 、透水性自然色 As 舗装約 9,160 m ² 、透水性インターロッキング舗装約 1,210 m ² 、透水性平板舗装約 3,120 m ² 、土系舗装 約 5,190 m ²
育苗施設	第 1 圃場 1,300 m ² (苗木育成施設 175m ² 含む)、第 2 圃場 1,700 m ² (苗木育成施設 245 m ² 含む)
作業棟	A(木造平屋建)192 m ² , B(プレハブ)70 m ²
みなの花野※	約 1,600 m ² (高木 約 100 本、中低木 約 60 本、フジ 2 本野草植栽 約 150 m ²)、ガーデンライト 16 基、パーゴラ 1 基、池・流れ約 90 m ²
成木植栽地	高木 約 1100 本、中低木 (中木約 140 本、低木 約 1200 m ² 、生垣 約 980m、地被約 60 m ² 、フジ 2 本
苗木植栽地	はじまりの森 約 4,850 m ² 、その他 約 28,900 m ²
草地	約 20,690 m ²
トイレ	トイレ 2 棟
休憩所施設	木製ベンチ 63 基、四阿 2 基、パーゴラ 1 基、日除け 1 基、移動式ベンチ 12 基
案内板	案内板 22 基
遊具	複合遊具 1 基、アスレチック遊具 4 基、ステップ遊具 1 基
その他	監視カメラ 4 基、時計台 4 基、高圧受電盤 1 基、エウロス (都市型風力発電システム) 7 基

※ みなの花野とは

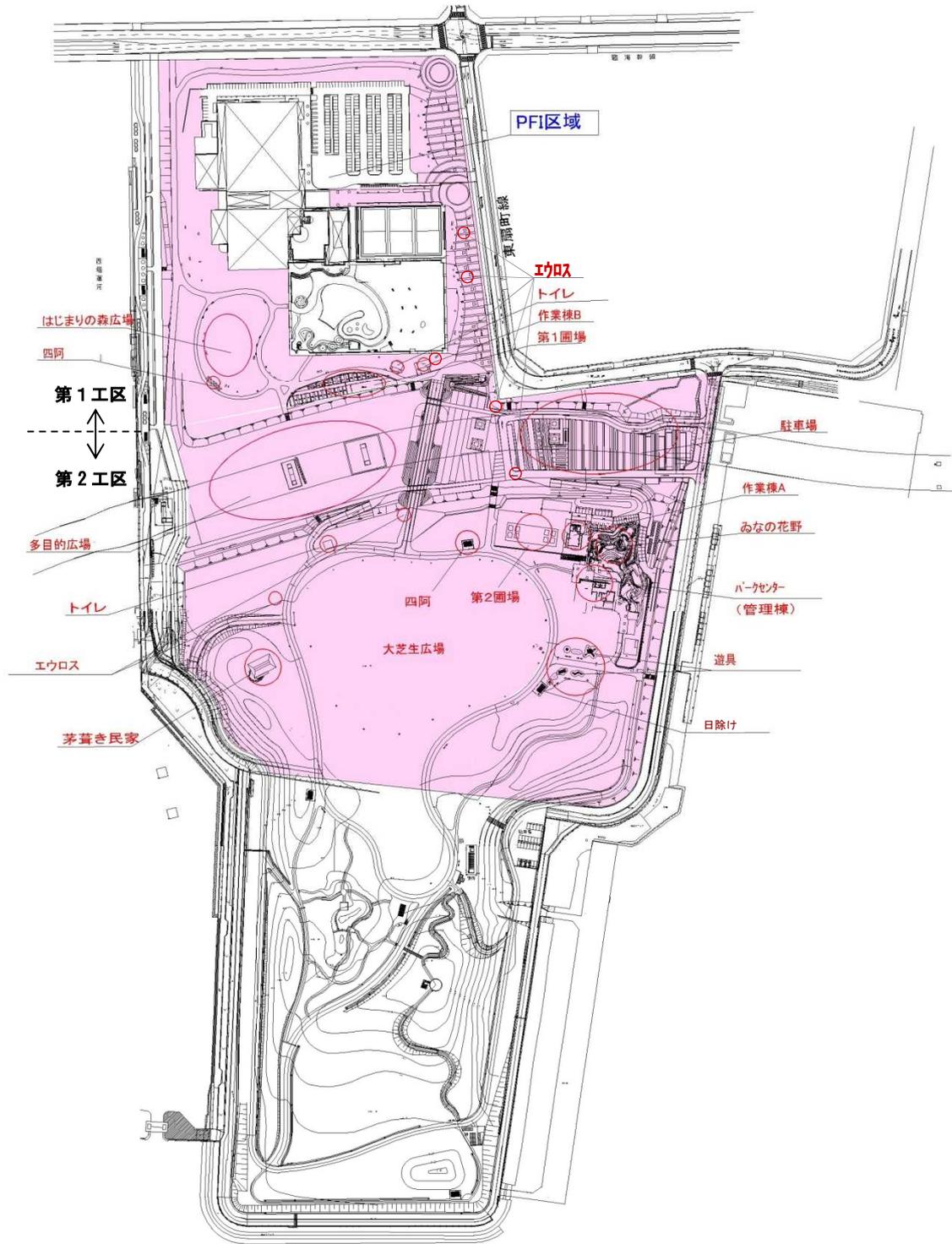
パークセンターの周辺整備にあたっては、森づくりへの導入部として、六甲山から海岸に至る植生をモデルとした見本園として整備し、花を含む野草や森づくりの楽しみや魅力を伝えるエリアとしている。

「みなの花野」とは、地域を示す「猪名」と草花が一面に咲く秋の野を表す「花野」を合わせたもの。古来、伊丹から尼崎にかけての猪名川と武庫川間の台地を「猪名野」、海を「猪名乃浦」と称し、万葉集に詠まれている。

2 航空写真



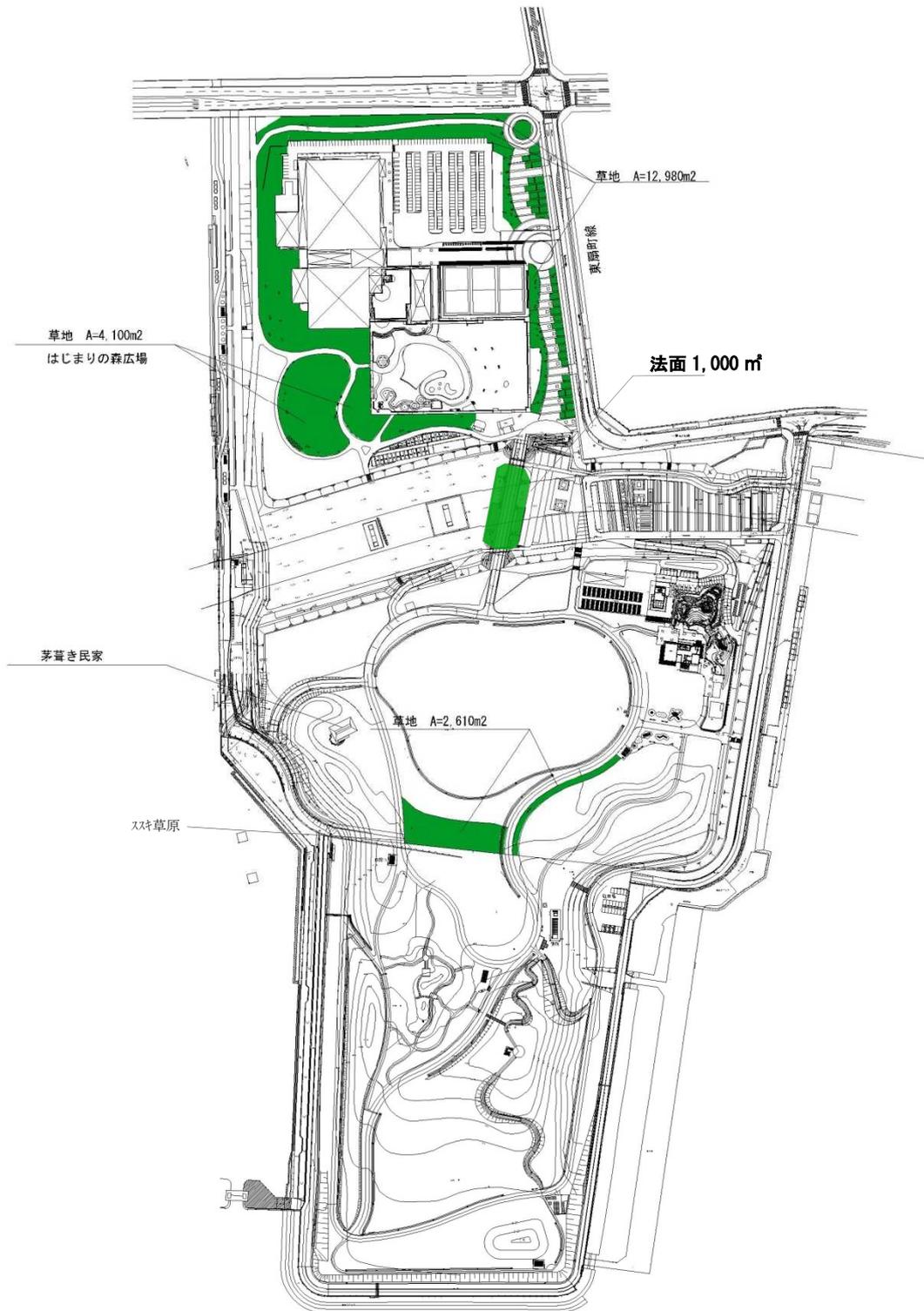
3 主要施設平面図



4 芝生管理図



5 草地管理図



6 樹木管理図



7 樹木総括表

〔第1工区〕

高木

名称	数量	単位
アラカシ	18	本
クスノキ	46	本
スダジイ	2	本
ホルトノキ	20	本
タブノキ	2	本
ヤブツバキ	11	本
ヤマモモ	22	本
クロマツ	508	本
エゴノキ	6	本
エノキ	58	本
サクラ類	180	本
クヌギ	10	本
サルスベリ類（シマサルスベリなど）	20	本
ケヤキ	1	本
ヒトツバタゴ	14	本
シマトリネコ	52	本
トウカエデ	5	本
ムクノキ	7	本
合計	982	本

中木

ウバメガシ	15	本
ハマボウ	11	本
サザンカ	15	本
セイヨウバクチノキ	17	本
ヒイラギモクセイ	2	本
ムクゲ	6	本
エゴノキ（小）	4	本
シャリンバイ	6	本
トベラ	36	本
シマトネリコ	1	本
ヤマモモ	3	本

エノキ	1	本
ネズミモチ	3	本
タブノキ	2	本
マサキ	5	本
合計	127	本

低木

アセビ	7	m ²
アベリア	16	m ²
クチナシ	94	m ²
コクチナシ	13	m ²
サツキ	43	m ²
シャリンバイ	94	m ²
トベラ	415	m ²
ヒラドツツジ	78	m ²
アジサイ	18	m ²
コデマリ	51	m ²
キンシバイ	86	m ²
ニシキギ	163	m ²
ハマナス	18	m ²
ヤマブキ	5	m ²
サザンカ	2	m ²
グミノキ	2	m ²
混低木（サツキ、トベラ等）	120	m ²
合計	1225	m ²

生垣

アラカシ生垣	70	m
カイズカイブキ生垣	98	m
ウバメガシ生垣	580	m
混生垣	141	m
合計	889	m

地被

アガパンサス	37	m ²
フイリヤブラン	9	m ²
ハイビヤクシン	13	m ²
ナンテン	2	m ²

合計	61	m ²
----	----	----------------

〔第2工区〕

高木（みなの花野）

名称	数量	単位
クヌギ	44	本
アラカシ	14	本
アベマキ	3	本
エゴノキ	2	本
クマノミズキ	5	本
ケヤキ	2	本
コナラ	13	本
ノグルミ	1	本
ムクノキ	2	本
ヤマザクラ	18	本
合計	104	本

高木（みなの花野以外）

クロマツ	21	本
クヌギ	8	本
アベマキ	1	本
コナラ	31	本
ムクノキ	1	本
ヤマザクラ	3	本
トベラ	2	本
アベマキ	56	本
合計	123	本

中木（みなの花野）

ヤマモモ	3	本
ガマズミ	7	本
ヤブムラサキ	17	本
ウツギ	20	本
タラノキ	6	本
ヒメユズリハ	10	本

トベラ	1	本
合計	64	本

中木（ゐなの花野以外）

ウツギ	5	本
ヒメユズリハ	3	本
ナツミカン	1	本
モチノキ	1	本
カキノキ	1	本
合計	11	本

低木

アキグミ	10.1	m
トベラ	22.9	m
合計	33	m

生垣

ウバメカシ生垣	39.5	m
合計	39.5	m

生垣（かやぶき民家）

混生垣	56	m
合計	56	m

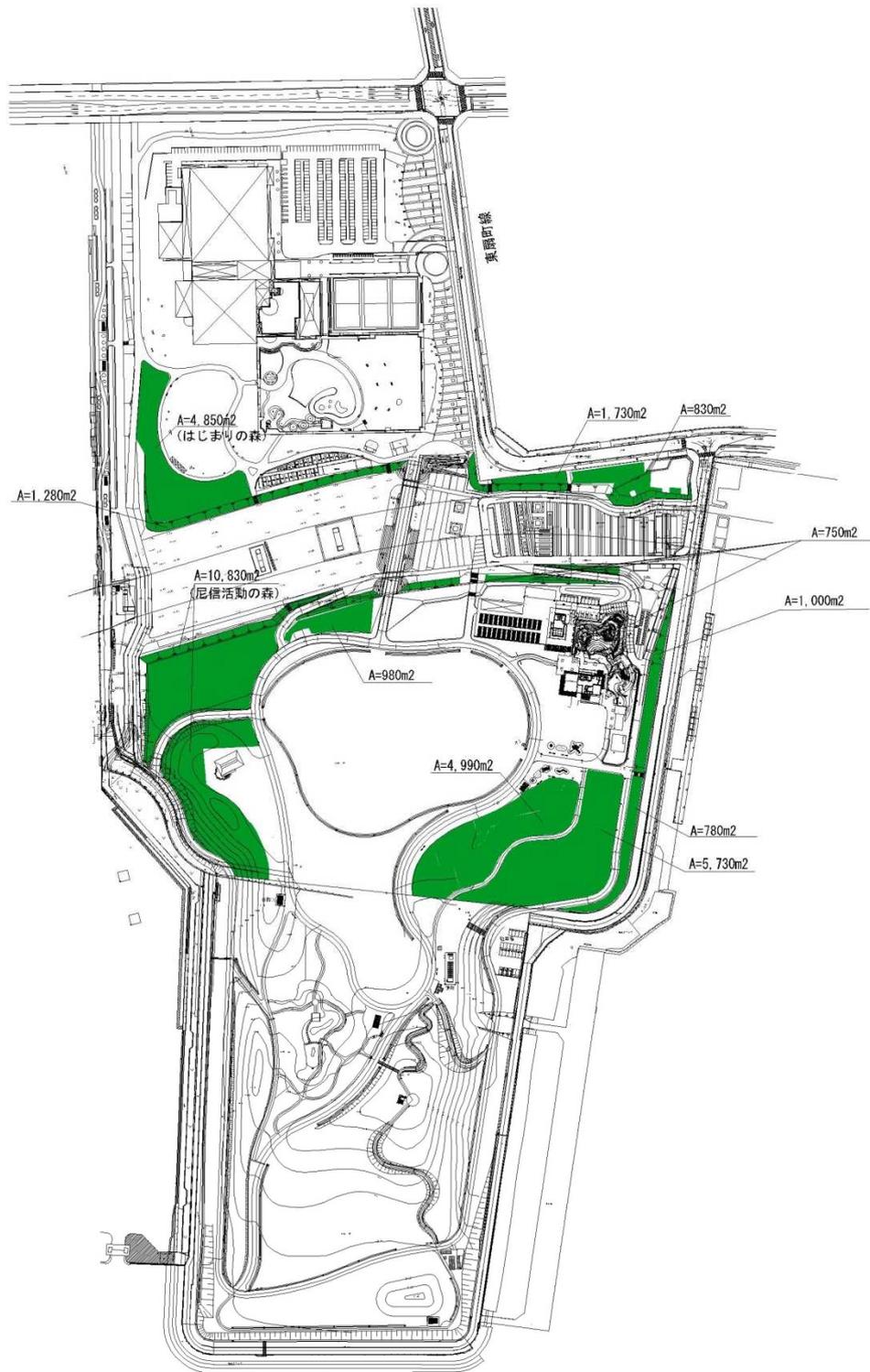
藤棚（ゐなの花野）

フジ	2	本
合計	2	本

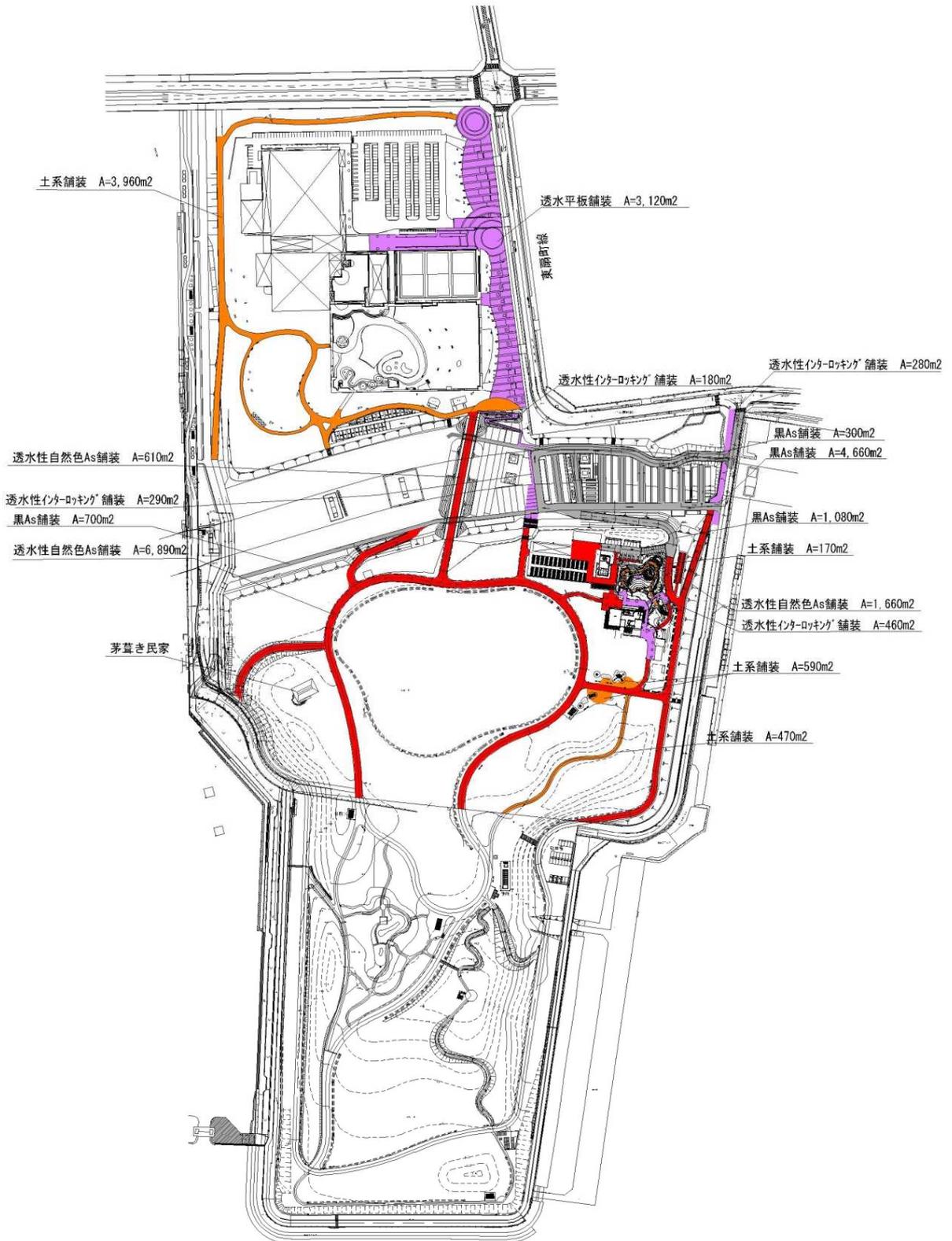
藤棚（ゐなの花野以外）

フジ	2	本
合計	2	本

8 苗木育成管理図



9 舗装管理図



10 尼崎 21 世紀の森構想

(1) 尼崎 21 世紀の森構想とは

尼崎臨海地域は、阪神工業地帯の一翼として重化学工業を中心にわが国の産業経済の発展をリードしてきたが、近年の産業構造の変化に伴い、多くの遊休地が発生するなど、地域活力が低下していた。このような状態を打開するため、兵庫県では平成 14 年(2002 年) 3 月に「尼崎 21 世紀の森構想」を策定し、「水と緑豊かな環境共生型のまちづくり」をテーマに、臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するとともに、「環境の世紀」を先導するまちづくりモデルとなることを目指すこととした。対象地域は、尼崎臨海地域約 1,000 ヘクタールで、地域住民及び企業等の参画と協働により、長期的に取り組むプロジェクトである。

(尼崎 21 世紀の森構想)

HP アドレス : https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks24/wd08_00000001.html



(2) 尼崎の森中央緑地基本計画及び整備計画

平成16年(2004年)1月に「尼崎の森中央緑地基本計画」を策定した。この計画策定から10年経過したことから、社会情勢の変化を踏まえ、平成27年(2015年)3月に「尼崎の森中央緑地整備計画」を策定した。基本計画で定めた基本理念に立ちかえり、100年後の“育てる森”の完成を待つのでなく、森の成長に応じ“人々が自然の恵み”を享受できるよう、森の利活用のイメージと場を設定し、森を育てながら「地域を育てる森」の実現を目指す。

(尼崎の森中央緑地基本計画・整備計画)

HPアドレス：https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks24/wd08_000000045.html

(3) 尼崎21世紀の森づくり行動計画(改訂版)

尼崎21世紀の森構想の理念の実現に向けての取り組みの方向性を示す「尼崎21世紀の森づくり行動計画」を平成16年(2004年)9月に策定した。この計画策定から10年以上経過し、森構想を取り巻く環境等変化を踏まえ、森構想のさらなる推進のため平成29年(2017年)3月に「尼崎21世紀の森づくり行動計画(改訂版)」を策定した。

「森と水と人が共生する環境創造のまちづくり」を基本理念とし、県民や企業等の参画と協働を得て、地域に愛され、学びや楽しみの場として幅広い利活用がなされる地域に親しまれる森づくりをめざす。

(尼崎21世紀の森づくり行動計画(改訂版))

HPアドレス：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/hsk07/documents/h28-2siryou3.pdf>

(4) 尼崎21世紀の森づくり協議会について

① 設置目的

県では、「森と水と人が共生する環境創造のまち」をテーマに、尼崎臨海地域の自然をよみがえらせ、魅力と活力のあるまちに再生していく新しいまちづくりをめざし、平成14年(2002年)3月に「尼崎21世紀の森構想」を策定し、そのリーディングプロジェクトとして尼崎の森中央緑地の整備に取り組んでいる。

あらゆる主体の参画と協働によって、まちづくりを進めていくために、市民、企業、各種団体、学識者、行政からなる「尼崎21世紀の森づくり協議会(以下、「協議会」という。)」を設置し、尼崎21世紀の森構想エリアのまちづくりの方向性や先導、中核拠点を担う尼崎の森中央緑地を活用した方策などについて協議を進めている。

(尼崎21世紀の森づくり協議会の記録等)

HPアドレス：

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/hsk07/21mori/kyougikai/kyougikaidata.html>

② 組織

協議会については、森づくり活動への参画の拡大を図るため、その仕組み作りを行う協議体＝「尼崎21世紀の森づくり協議会」と森づくり活動を実践する活動体＝「森の会議」に役割を分担している。

●「尼崎21世紀の森づくり協議会（協議体）」

協議会は、尼崎の森中央緑地のほか尼崎 21 世紀の森構想エリア内での参画と協働の仕組みづくりなど構想推進の方向性の意思決定や構想区域全体の意見・提言・要望等を行う。また、「協議会」でより詳細な検討を要する課題が生じた場合には様々な専門分野に応じてタスクフォース型の会議「検討会」を組織し、集中的に審議を行っている。

協議会は、県・尼崎市と指定管理者が事務局となり、年2回程度開催する。（委員は、市民、企業、各種団体、学識者、行政の各分野から選任）

●「森の会議（活動体）」

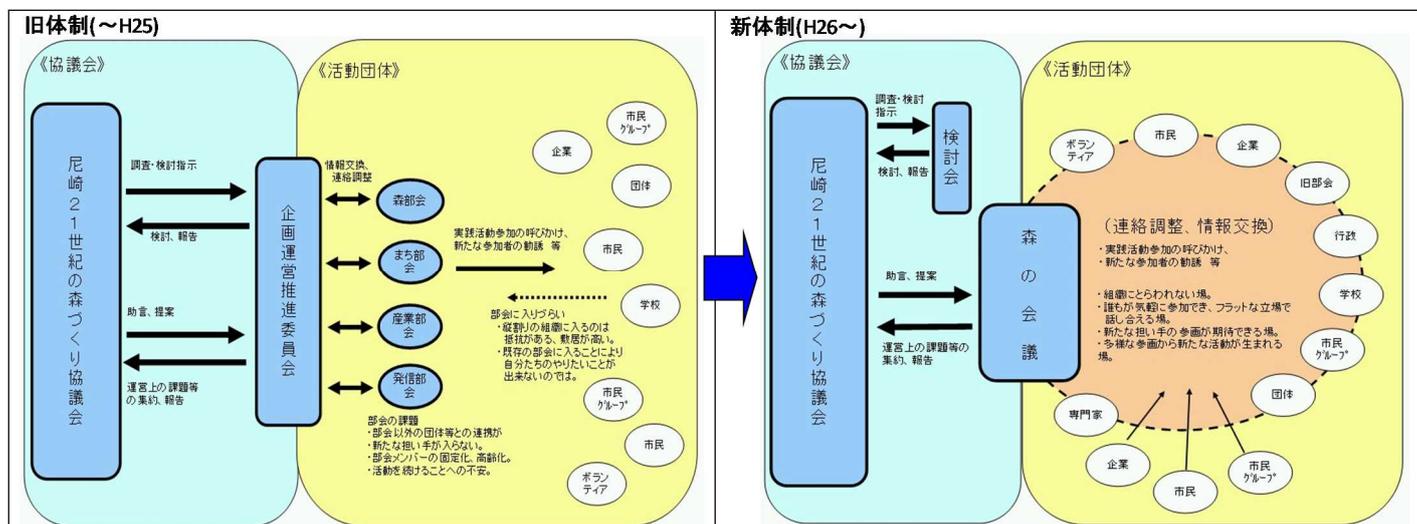
森構想に資する活動の担い手を増やし、取り組みの輪を大きく広げていくため、誰もが参加でき、活動団体のマッチング、ネットワーク形成を促す場として「プラットフォーム『森の会議』」を開催している。森構想に資する活動を活性化させ、構想推進を図るため、本公園の指定管理者は、『森の会議』を、月1回程度開催する。

●体制変更の経緯

平成25年(2013年)度までは、森づくり活動の実践団体として各部会を設け、部会間の連絡調整を企画運営推進委員会で行っていた。その後、各部会の成熟により、部会メンバーの固定化・高齢化や部会間の連携不足などが課題となった。

よって、平成26年度より、新たな森づくり活動の担い手が参画し易い体制とするため、部会組織にこだわらないゆるやかな体制とし、連携の効率化を図るため、活動団体間の連絡調整は「森の会議」で行うこととした。

尼崎 21 世紀の森づくり協議会 イメージ図



1 1 尼崎スポーツの森

P F I 事業により、あまがさき健康の森(株)が、施設を設計・建設を行い、県に施設を引き渡し後、指定管理者として管理運営している。

(1) 対象範囲

第1工区 6.9ha のうち、3ha

(2) 管理運営期間

平成 15 年(2003 年)12 月 23 日から平成 35 年(2023 年)3 月 31 日までの 20 年間

(3) 施設概要

プール施設と健康増進施設を有し、健康増進施設は、プール施設と一体となって、健康の増進、人の交流、地域の活性化、コミュニティの形成、子育て支援などに寄与する施設である。年間約 46 万人の利用がある。

【プール施設】

- ・メインプール (屋内)
50m×25m (全 10 コース/国際公認 8 コース)、観客席 (約 2,000 席)
※冬季にはスケートリンクとして利用。
- ・サブプール (屋外)
25m×25m (全 14 コース/国内公認 12 コース)、観客席 (約 320 席)

【健康増進施設】

- ・ウォーターパーク (屋外)
ウォータースライダー(120, 80m)、造波プール、流れるプール 等
- ・その他
グラウンドゴルフ (天然芝 16 ホール)、フットサル (人工芝 18m×36m/ 3 面)
フィットネス (264m²) 等

(尼崎スポーツの森)

HP アドレス : <http://www.a-spo.com/>

1.2 参画と協働による森づくり活動

本公園では、以下のとおり、県民や企業の参画と協働を得て、森づくり活動を進めており、指定管理者は、これらの森づくり活動をコーディネートしながら、企業等主催のものも含めて、内容を把握し、森づくり作業計画への反映等、適宜調整するものとする。

No.	活動名	実施主体	内容	実績
1	森づくり定例活動	指定管理者 (管理運営業務)	毎月3回、森づくり活動を実施 うち2回：一般向け 1回：エリア活動団体向け 対象：個人	[2019年度] 毎回30名程度が参加
2	苗木の里親制度 ※第1節参照	指定管理者 (管理運営業務)	個人、企業、学校等を苗木の里親として登録し、苗木を育てる制度。育成後の苗木は中央緑地への植樹又は圃場へ返却(H21年度～) 対象：個人、企業、学校等	[2020.3現在] 個人：延べ約6,952人 企業・学校等：13企業、3校
3	苗木の里親植樹会 ※第1節参照	指定管理者 (管理運営業務)	「2苗木の里親制度」により育てた苗木を植樹する植樹会を年2回以上開催(H24年度～) 対象：個人、企業、学校等	[2020.3現在] 累計参加人数：約1,500人 累計植栽本数：約3,200本
4	エリア設定型森づくり活動 ※第2節参照	指定管理者 (管理運営業務)	企業や学校等の団体が、公園内で一定のエリアを決め、各団体が責任をもって植栽から維持管理を実施(H24年度～) 対象：個人、企業、学校等	[2020.3現在] 累計面積：16,140m ²
			上記活動の一環として、尼崎信用金庫主催による「尼崎21世紀の森あましん植樹祭」を、年1回開催(H23年度～) 対象：個人	[2019年度] 参加人数：約1,500名 植栽本数：約1,000本
5	尼崎の森ファミリークラブ	指定管理者 (魅力アップ事業)	小学生が植樹、除草、間伐の長期にわたる森づくり活動を年1回程度実施(H28年度～) 対象：尼崎市及びその近隣市の小学生	[2019年度] 参加人数：124名(保護者含む) 植栽本数：約120本
6	環境体験学習	指定管理者 (魅力アップ事業)	環境体験プログラムの一環として、鉢上げ、植栽、除草、間伐等の森づくり活動を実施(H26年度～) 対象：一般(幼児・小学生から高校生まで幅広く)	[2019年度] 参加人数：約2,900名 植栽本数：約900本

第1節 苗木の里親制度

個人のご家庭や企業・学校等で、尼崎の森中央緑地に植栽する苗木を植樹に適した大きさになるまで預かっていただき、その後、苗木の里親植樹会により中央緑地内に植樹してもらう制度。

一人あたり2本の苗木と育て方の手引きを渡している。里親の期間は約1年間。



○苗木の里親制度 参画団体

企業・団体	尼崎信用金庫
	メック株式会社
	(公財)尼崎地域産業活性化機構
	株式会社クボタ阪神工場
	株式会社香山組
	株式会社日鉄住金鋼板
	日本山村硝子株式会社
	株式会社林兼合金鋳工所
	NPO 法人シンフォニー
	三菱スペース・ソフトウェア株式会社
	山本工務店
	三菱電機株式会社先端技術総合研究所
教育機関	尼崎市立旧若葉小学校
	県立尼崎高校
	尼崎市立成良中学校

第2節 エリア設定型森づくり活動

一定の活動エリアを定め、企業や学校・団体等が主体的に森づくりを行う制度。

現在、7企業・団体、3学校、3市民グループが森の育成活動を継続的に行っている。

○エリア設定型 参画団体

	団体名	面積(m ²)
企業・団体	尼崎信用金庫	12,470
	メック株式会社	450
	日本山村硝子株式会社	200
	公益財団法人 尼崎地域産業活性化機構	200
	株式会社 香山組	200
	生活協同組合コープこうべ	250
	阪神高速道路株式会社	150
教育機関	県立尼崎高校	170
	尼崎市立成良中学校	255
	県立尼崎北高校	180
市民活動 グループ	あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会	200
	アマフォレストの会	1,190
	AMAFES の森	200
合計		16,140